



ふきのとう

第40号

【発行】

社会福祉法人
秋田県社会福祉事業団

〒010-1412
秋田市御所野下堤五丁目1番地の1
TEL 018-889-8360 FAX 018-889-8361
HP <http://www.fukinoto.or.jp>
e-mail mail@fukinoto.or.jp



点字図書館～点字でアートにチャレンジ～

【目次】

- P 6 ・表彰
- P 5 ・部活動紹介
- P 4 ・職員紹介
- P 3 ・令和三年度事業報告概況
- P 2 ・点字図書館

★FACEBOOK随時更新中★
ホームページからも
閲覧できます。
詳細は、チラシから↓



やまばと園
～スポーツレクリエーション大会～

イベント紹介

「夏休み点字図書館探検」秋田県点字図書館

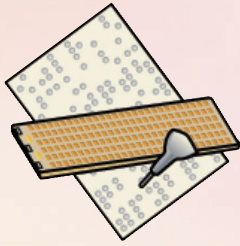
当館では、地域の小学校の児童などが、点字への関心を深めることができるよう、「夏休み点字図書館探検」を毎年開催しています。

内容としては館内の見学を始め、『点字で名前を打ってみよう』『点字で書いていることを解読してみよう』『録音してみよう』などの体験型企画を用意しました。

日頃何気なく見たり書いたりしている文字ですが、それを点字や音声に変換することで、初めて情報を得ることができるよう方もいます。その過程を通して、目の不自由な方々との関わりを考えてもらう機会としています。

参加した児童たちの感想には、「点字の歴史を知ることが出来た。」「初めて点字で書いたり読んだりして楽しかった。」「身近にある物に点字が書かれていることを知った。」「音訳のようにゆっくり、はっきり話すことを心がけたい。」など、学んだことや体験して感じた楽しかったことが多く書かれていました。

こうした体験をきっかけに、目の不自由な方以外にも、誰もがより良く関わり合うということについて考えてくれることを期待しています。



点字の暗号を解いてみよう

音訳の文章を読んで録音しよう



点字で名前シールを作ろう

集合記念写真



令和3年度決算報告

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

資産の部			負債の部				
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,804,444,789	1,701,859,917	102,584,872	流動負債	375,194,531	390,387,790	△ 15,193,259
				固定負債	617,448,541	626,686,328	△ 9,237,787
固定資産	6,243,655,009	6,096,926,138	146,728,871	負債の部合計	992,643,072	1,017,074,118	△ 24,431,046
				純資産の部			
基本財産	2,467,242,221	2,585,104,307	△ 117,862,086	基本金	10,000,000	10,000,000	0
				国庫補助金等特別積立金	1,399,505,569	1,470,693,487	△ 71,187,918
				その他の積立金	2,964,692,011	2,638,859,575	325,832,436
その他の固定資産	3,776,412,788	3,511,821,831	264,590,957	次期繰越活動収支差額	2,681,259,146	2,662,158,875	19,100,271
				(内当期活動収支差額)	(344,932,707)	(338,248,390)	6,684,317
				純資産の部合計	7,055,456,726	6,781,711,937	273,744,789
資産の部合計	8,048,099,798	7,798,786,055	249,313,743	負債及び純資産の部合計	8,048,099,798	7,798,786,055	249,313,743

資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日
(単位：円)

勘定科目	決算
事業活動による収支	
事業活動収入計	4,932,488,446
事業活動支出計	4,496,911,041
事業活動資金収支差額	435,577,405
施設整備等による収支	
施設整備等収入計	35,000
施設整備等支出計	17,235,585
施設整備等資金収支差額	△ 17,200,585
その他の活動による収支	
その他の活動収入計	79,563,724
その他の活動支出計	380,968,424
その他の活動資金収支差額	△ 301,404,700
予備費支出	0
当期資金収支差額合計	116,972,120
前期末支払資金残高	1,433,271,334
当期末支払資金残高	1,550,243,454

事業活動計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日
(単位：円)

勘定科目	決算
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	4,919,362,006
サービス活動費用計	4,584,738,568
サービス活動増減差額	334,623,438
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	13,202,449
サービス活動外費用計	1,680
サービス活動外増減差額	13,200,769
経常増減差額	347,824,207
特別増減の部	
特別収益計	0
特別費用計	296,000
特別増減差額	△ 296,000
税引前当期活動増減差額	347,528,207
法人税、住民税及び事業税	2,595,500
法人税等調整額	0
当期活動増減差額	344,932,707
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	2,662,158,875
当期末繰越活動増減差額	3,007,091,582
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	7,955,560
その他の積立金積立額	333,787,996
次期繰越活動増減差額	2,681,259,146

事業報告・決算の詳細については、当事業団ホームページの「情報公開」ボタンからアクセスしていただくとご覧になることができます。

令和三年度 事業報告概況

(一) 県有施設等の経営

秋田県心身障害者コロニー等、三施設は秋田県から無償借受を継続、令和二年度より新たに受託した秋田県聴覚障害者支援センターはコロナ禍の中、積極的な相談支援や情報提供に努めました。

(二) 質の高い福祉サービスの提供

重度化・高齢化の支援に比重を置くため、タブレット・介護ロボットの導入を検討しました。また、やまぼと園においては、湯沢雄勝広域市町村圏との協議を踏まえ、特殊浴槽を令和四年度中に設置することとなりました。

(三) コンプライアンスの徹底

社会的な規範やモラルを守りつつ、関係法令を遵守し、公益的かつ信頼性の高い経営を実現するため、引き続き相談窓口の周知といったコンプライアンス体制の確立に努めるとともに、職員が福祉関係法令、虐待防止法等を適切に理解できるようコンプライアンス教育の実践に取り組みました。

(四) 権利擁護の徹底

虐待防止チェックリストによる定期的な点検、全支援職員に対して人権意識を高める研修を実施しました。

(五) 相談支援体制等の充実

地域生活を実現するために必要な保健・医療・福祉・就労・教育等のサービスに係る総合的かつ適切な利用支援等の援助技術を習得し、相談支援専門員の専門性の向上を図りました。また、他機関との連携により複合的ケースにも対応できる相談支援体制等の強化に努めました。

(六) 正規職員採用

令和四年四月一日付で福祉職九名、栄養士一名、看護師一名を採用、令和四年八月一日付で看護師一名を中途採用しました。

(七) 職員の待遇改善

入所施設の支援員の確保と職場定着を図るため、国の処遇改善交付金・補助金を活用し、職員の待遇改善を図りました。

(八) 危機管理体制の強化

新型コロナウイルス等の感染症や大規模災害等に対応したBCP（事業継続計画）検討作業チームを設置しました。また、メール送信システムを新システムへ変更するとともに緊急時を想定した訓練を実施しました。

(九) 強度行動障がい支援等のスキルアップ

県内の障がい福祉サービス事業所等の事業者を対象に、強度行動障がい有する方に適切な支援を行う人材の育成を目的とした研修を実施しました。支援アドバイザーの指導・助言を受けながら障がい特性の理解や援助技術等の習得に努めました。

職員紹介



阿 桜 園
看護師 佐々木 とみ江

今月より阿桜園に配属となりました、看護師の佐々木とみ江と申します。医務の方と支援員の方々と連携を図り、利用者皆様の質の高い生活が出来るよう心掛けて参ります。宜しくお願い致します。

秋田県社会福祉事業団バドミントン部

今年度、ついに秋田県社会福祉事業団に『バドミントン部』が創設されました。

以前より個人で大会に出場する等、現役でバドミントンを続けていた職員はいましたが実業団に部として登録するには4名以上という規定があり、今年度新たに入職した職員が加わったことで、念願の創部となりました。

《公式メンバー》

- 部 長：佐々木 薫
(秋田県社会福祉事業団事務局長兼中央地区老人福祉総合エリア所長)
- マネージャー：高橋 牧子 (高清水園)
(以下、写真左より)
- 選手兼監督：織山 茂樹 (高清水園)
- 選手兼コーチ：伊藤 広太 (障害者支援センター御所野)
- 選 手：村井 蓮弥 (障害者支援センター御所野)
- 選 手：野呂 誠也 (心身障害者コロニー)

実業団バドミントン選手権大会東北予選会 東北実業団バドミントン選手権大会



東北大会終了後

～ 功績紹介～

【第3回秋田県実業団バドミントン選手権大会】

令和4年3月20日

能代市二ツ井町「二ツ井町総合体育館」

(初出場) 準優勝

※東北実業団バドミントン選手権大会出場権獲得 (第2代表)



伊藤選手



村井選手

【第72回全日本実業団バドミントン選手権大会

東北予選会兼第39回東北事業団選手権大会】

令和4年4月16～17日

岩手県北上市「北上市勤労者体育センター」

(初出場) 第4位 ※出場全11チーム



野呂選手



織山選手

【第73回県民体育大会バドミントン競技 (一般の部)】

令和4年6月11～12日

美郷町「美郷町総合体育館リリオス」

(1部青年男子シングルス) 準優勝 村井蓮弥

※とちぎ国体・東北選手権出場

(30歳以上シングルス) 優勝 野呂誠也 (2連覇) ※東北選手権出場

(30歳以上ダブルス) 優勝 野呂・他企業選手組 (2連覇) ※東北選手権出場

施設紹介

やまばと園

毎年六月に行われているやまばと園の三大行事であるスポーツレクリエーション大会。通常であればご家族や関係者にもご参加いただき盛大に開催していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和二年から利用者と職員のみで行っています。帰省や外出等様々な制限を受けている利用者の皆さんが心から楽しめ、少しでもストレスが軽減されるような色々なアイデアを出し合って今年度も開催に漕ぎつけました。

当園は三つの寮で構成されていますが、感染対策としてホールや体育館など実施場所を分散して四つの種目で得点を競い、優秀な成績を収めたチーム（寮）には園長から表彰状が手渡されました。

レクリエーションでさわやかな汗を流した後は昼食会を実施し、予めスクラム会（利用者自治会）より希望のあったメニューで運動後の空腹を満たしました。

規模を縮小しての開催でしたが、利用者の皆さんはともて元気で楽しそうな笑顔を見せてくれ、職員一同安心しました。来年こそは通常開催でき、利用者の皆さんが今年以上の笑顔を見せてくれることを切に願っています。



☆表彰☆

○全国社会福祉事業団協議会会長表彰

(永年勤続功労)

事務局 主査 熊澤弘樹
 高清水園 主査 鈴木恵理
 秋田県心身障害者コロニー 主査 菅原美紀

由利本荘地域生活支援センター 主査 須田稔行
 阿桜園 主査 藤原奈穂子
 やまばと園 主査 後藤裕介

○秋田県知事表彰(社会福祉功労者)

秋田県南部老人福祉総合エリア 主査 田畑良郎
 高清水園 支援係長 鈴木宏江
 秋田県心身障害者コロニー 課長 後藤孝幸

支援係長 小原辰矢
 支援係長 三浦雅啓
 支援係長 宮浦雅啓

由利本荘地域生活支援センター 主査 鷹島征彦
 阿桜園 支援係長 鈴木博幸
 やまばと園 支援係長 高橋朋恵

○秋田県社会福祉協議会会長表彰

(社会福祉功労者)
 高清水園 主査 鈴木恵理
 由利本荘地域生活支援センター 主査 須田稔行
 阿桜園 主査 高橋智彦
 やまばと園 主査 後藤裕介

秋田県心身障害者コロニー 主査 阿部瑞穂

受賞おめでとうございます。